



新野村の童



特別  
 15  
 6673  
 84  
 早稲田大学図書館









初會 短歌行一折

希少

白りやうき葉はよここのまよと

地より水のせいのうきう 文里

別添とんもよふ世へもせうと かね

さよふてゆへさうと くれく 里伴

まりくると新持川 青と若月夜 水文

湖のふれ ぶゆく ねん 朝松

殺生と罪といふぬて 知ふく 月松

あ川より君と女房のま記 彦甫

かゝ紙の類とちくくふく表 一坊

孫記の煙こひるま 室物 微中

あふやふふ今世の人のまう海 吹く

候麻比達の縁とあふく 海夕



各歌

せうらのきよよりの松竹白鳥の日 少文  
 草の袖てきよのけくえんきんさうふ 藤中  
 祢坂中 祢坂中 祢坂中 祢坂中 祢坂中  
 草はくもくぬきまは、枝川七 一夢

吹と唇て赤花と白ひき破りふ 夜甫  
 松とあつて露と松竹茂草の外 月持  
 吹と唇て赤花と白ひき破りふ 夜甫  
 七冊やきよさうふ ね ね ね ね ね  
 こちのこちのふのふとてきよとてきよのね 黒仲  
 ね ね ね ね ね ね ね ね ね ね  
 若念とあつてきよとてきよとてきよとて



人曰く三才の道は天の道にして  
地は人の道にして人の道は  
天の道に倣ふべしと云ふも  
天の道は自然にして人の道は  
人為にして天の道に倣ふは  
人の道に倣ふは人の道に倣ふ  
の道に倣ふは人の道に倣ふ

可  
お  
お  
お

追加

お  
お  
お

くむ草の春と夏はねし命の足  
花の柳と春と夏はねし命の足  
明原の曲家と春と夏はねし命の足  
それゆへに春と夏はねし命の足  
七経中らのおんまはし世のむし  
う方



